

ほいたらね(方言)

校長 平岩 健太郎

標題の「ほいたらね」は、先週まで放送されていたNHKの朝の連続ドラマ「あんぱん」でよく聞かれた方言のひとつです。「それじゃあ またね」という意味です。この番組をご覧になった方も多いかと思います。「アンパンマン」の作者 やなせたかしさんとその妻の暢(のぶ)さんを描いたドラマでした。戦前、戦中、戦後を生き抜いたお二人のドラマで、作品のテーマは「正義」「愛」「優しさ」「おもいやり」「生きる喜び」「生きる意味」であったように思います。

このドラマでは、冒頭のような方言(土佐弁)がたくさん使われていました。「たっすいが」・「たまるか」・「こじゃんと」・「～しちゅう」・「～やき」などでした。どのような意味で、どのように使うかは、調べるまでわからなかったのですが、ドラマの中で使われるこれらの方言はなんとも味わいがあり、とても興味深いものでした。

方言は、その土地で長い年月をかけて受け継がれてきた言葉です。方言は、その土地の風土や風習に根ざしており、そこに暮らす人々の文化といえます。私が方言に味わいを感じたのは、語感豊かに受け継がれてきた言葉のニュアンスの中に、そこに暮らす人々が喜びや悲しみを分かち合い、争いを回避し、人と人との関係性を大切にされた言葉ではないかと感じたからです。そして、そこに生きることや人生の機微を感じたからです。

学校での学びは、教科書に代表されるように標準語を基本としています。しかし、長い年月、人々が紡いできた方言は、人の心のありようや心情などを子どもたちに教えてくれる言葉でもあります。ご家庭や地域の皆様におかれても、ご自身のふるさとの言葉やテレビなどで聞かれる方言について話題にしてみたいはいかがでしょうか。子どもたちの未知の言葉へのアンテナは高く、吸収力も抜群です。方言という豊かな文化を通して、子どもたちの言葉と心を広げていきませんか。

「ほいたらね」…それじゃ またね 「たっすいが」…頼りない、張り合いがない

「たまるか」…驚きや強い感情が込められた土佐弁の感嘆詞

「こじゃんと」…たくさん、とても 「～しちゅう」…～している

「～やき」…～だから

## 10月行事予定

1	水	5校時終了後下校
2	木	定時退勤日
3	金	
4	土	
5	日	
6	月	
7	火	
8	水	
9	木	代表委員会 定時退勤日
10	金	就学時健康診断 13:05 下校 (給食後)
11	土	
12	日	
13	月	スポーツの日
14	火	全校朝会 委員会
15	水	3年生 環境体験学習
16	木	定時退勤日
17	金	
18	土	
19	日	
20	月	児童集会 (ファミリー集会)
21	火	6年連合体育大会 (午後)
22	水	
23	木	定時退勤日
24	金	13:20 下校 (給食後)
25	土	体育大会
26	日	
27	月	代休日
28	火	13:20 下校 (給食後)
29	水	体育大会予備日
30	木	定時退勤日
31	金	ファミリー活動 (遊び交流)

### 体育大会

25日(土)開催のため、27日(月)は代休日となります。子ども達のがんばりを、ぜひ見てあげてください。

### 6年連合体育大会

今年度の連合体育大会も選手選抜制で行われます。選抜された選手はベイコム陸上競技場で大会に参加します。選手以外の保護者の皆様はご来場頂けませんので、ご了承下さい。

〈11月の予定〉

11/13 (木) 4年市音楽会

11/28 (金) 29 (土)

音楽会

12/1 (月) 代休日

